

-Japanese-

4K500ST ファームウェア変更手順書

ファームウェア更新に関する注意

- 1) ファームウェアの更新中に電源が切れると、プロジェクターの電源が入らなくなり投写できなくなります。家庭用電源を使用する場合は、停電に十分ご注意ください。
- 2) ファームウェアの変更中は、絶対に USB フラッシュメモリーを抜かないでください。プロジェクターの電源が入らなくなり投写できなくなります。
- 3) ファームウェアの変更中は、ボタン操作を行わないでください。

【準備するもの】

プロジェクター本体

初期化した USB フラッシュメモリー (64MB 以上)

リモコン (同梱品。ない場合は本体キーで操作可能)

ファームウェア変更用ファイル (ホームページからダウンロードします)

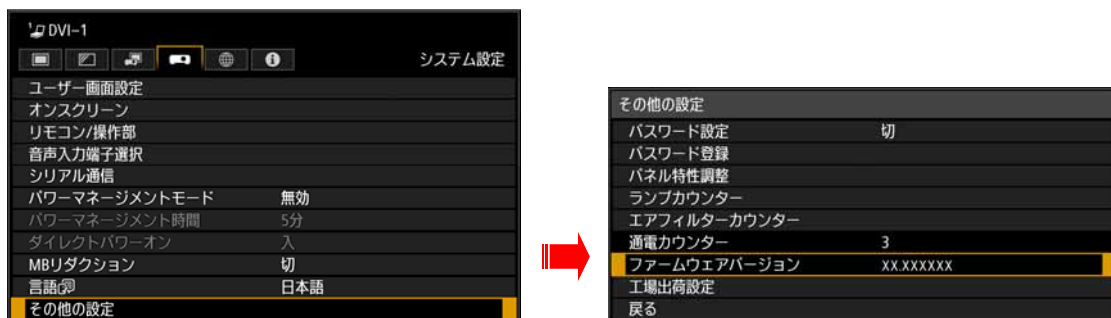
【ファームウェア変更】

以下の説明の中で、XX.XXXXXX は現在のファームウェアのバージョン名、YY.YYYYYY はこれから変更するファームウェアのバージョン名をあらわします。

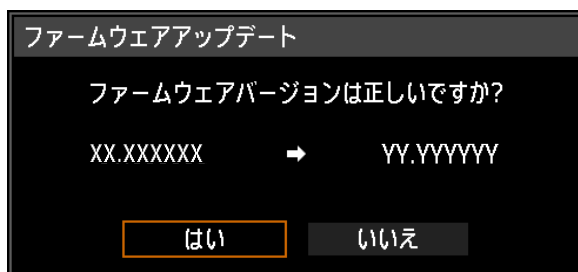
1. ホームページから圧縮ファイルをダウンロードしてください。
2. ダウンロードしたファイルを解凍し、機種名のフォルダに入っている 4 つのデータ (Auto.pjs、config.ini、MainFW.bin、SubMpu.hex) を USB フラッシュメモリーのルートフォルダーにコピーします。
3. USB フラッシュメモリーをプロジェクターの USB ポートに挿入します。



4. **MENU** ボタンを押します。システム設定 その他の設定 ファームウェアバージョン
を選択し、**OK** ボタンを押します。



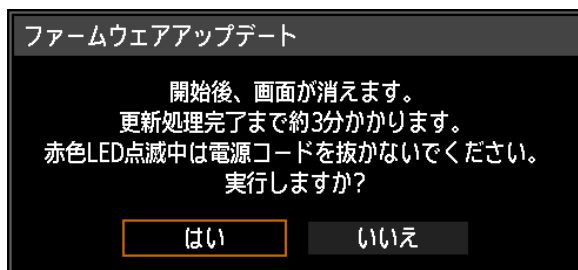
5. 『はい』を選択後、**OK** ボタンを押します。再度確認してきます。



注意) 本体ファームウェアと USB フラッシュメモリーのデータが同じバージョンの場合はファームアップが実施されません。『既にファームウェア更新済みです』のメッセージが表示されます。

プロジェクターにファームアップデートの画面が表示されない場合は USB フラッシュメモリーにファームウェア変更ファイルが正常にコピーされていません。もう一度手順 1 からやり直してください。

6. 『はい』を選択後**OK** ボタンを押します。



7. 途中で LED の点滅が開始します。ファームウェアの書き込みが終了すると、自動的に電源が OFF になります。全ての LED が消灯すれば、ファームアップデートは終了です。

❗ ファームウェア更新中

まもなく画面が消えますが、更新処理は継続します。
赤色LED点滅中は電源コードを抜かないでください。

【ファームウェアバージョンの確認】

1. **POWER** ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。**MENU** ボタンを押し、インフォメーション画面で、ファームバージョンが 「YY.YYYYYY」 となっていることを確認します。



【ファームウェア変更中にエラーが表示された場合】

『ファームウェアファイルの読み込みに失敗しました』が表示される場合は、必要なファイルが USB フラッシュメモリーに書き込まれていない可能性があります。対応するモデルのファームウェアデータを書き込んでいるか、およびデータのコピー先が USB フラッシュメモリーのルートフォルダーに書き込まれているかを確認してください。

それでも変更できない場合は、弊社『お客様相談センター』または『修理受付窓口』にご相談ください。

❗ ファームウェアアップデート

ファームウェアファイルの読み込みに
失敗しました。